

連携医療機関のご紹介

谷野内科循環器科クリニック

〒700-0984
岡山県岡山市北区桑田町4-15
TEL:086-222-0800

【谷野俊輔先生に伺いました】

当院は、地域の皆さまから信頼され親しまれる「かかりつけ医」を目指して平成17年に開院しました。心臓病や血管疾患などに対する循環器専門医としての診療とともに、高血圧症、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の治療や、その他のあらゆる健康問題にも対応しております。心臓病センター榊原病院には通常の病客紹介だけでなく、ドクターカーでの急患の受け入れなど大変お世話になっており、今後もいっそうの病診連携に努めていきたいと思っております。



診療時間	月	火	水	木	金	土	休診日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	・土曜日午後 ・日曜日 ・祝日
15:30~18:30	○	○	○	○	○	休	

副院長・谷野智子先生は木曜午前のみの診療となっております。

診療科目 ● 内科 ● 循環器科

榊原病院からのアクセス

車 | 約10分



特別メニュー

秋

安全でおいしい食事

ご入院中の病客さまにとって、お食事が「安全」「癒し」や「楽しみ」の時間になりますように

旬の秋鮭に
ニンニクと香草風味
減塩で食欲増進メニュー

献立 (1例)

- 秋鮭の香草焼き
- カボチャのポタージュ
- 海老と野菜の洋風茶碗蒸し
- ゴボウとエノキ茸のサラダ
- ご飯
- 果物盛り合わせ(梨・ピオーネ)

エネルギー 582Kcal
たんぱく質 29.6g
塩分 1.5g
主食量 150g

※ご利用には別途追加料金が必要です。
※お申し込み・ご質問は看護師へお申し付けください。

夕食

1食あたり
追加料金

690円(税込)

週7日

※1日でもご利用可能
※特室は無料さかきばら
News

4号

2022.10

ご自由にお持ち帰りください

ウィズ・コロナ下での安心・安全な
循環器医療提供に向けて

院長補佐 近沢 元太

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症との戦いも2年半を越えました。繰り返し求められる様々な自粛や行動規制の影響はわが国における社会経済活動の減退をもたらし、我々の心身両面の健康にも暗い影を落としつつあります。

また、コロナ禍における全国的な医療ひっ迫により、新型コロナウイルス感染症だけでなく全ての病客さまに必要な医療を提供する体制維持の重要性を再認識させられました。一方で、いかにその体制が脆く容易に崩壊しかねない状況にあるかということが改めて浮き彫りになったといえます。

新型コロナウイルス感染症に限らず、今後時々刻々と訪れる諸々の社会情勢の変化に即応できる安全かつ安心な循環器医療体制の堅持が必要と考えています。地域住民の皆さま並びに連携医療機関の諸先生方のご支援・ご指導を賜り、引き続き努力して参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

12月29日午後より1月3日まで外来診療を休診します。
急患の診察、検査、手術についてはその間も行っております。



先生
教えて!

【虚血性心疾患】とは?

循環器内科 副院長 廣畑 敦 がお答えします

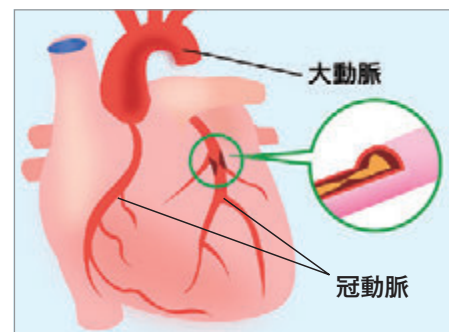


Q 虚血性心疾患とはどんな病気?

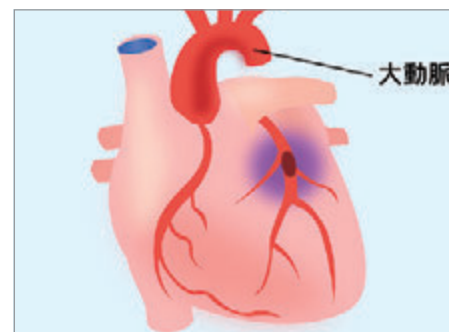
A 心臓の血管(冠動脈)が狭くなり酸素や栄養が運ばれない状態を虚血性心疾患といいます。

なかでも代表的なものとして「狭心症」と「心筋梗塞」があります。冠動脈が狭くなっている状態を狭心症、冠動脈が詰まって心臓の一部が壊死した状態を心筋梗塞

といい、急に閉塞した状態を急性心筋梗塞といいます。主な症状は胸痛ですが、糖尿病の方では痛みのないこともあります。



狭心症



心筋梗塞

Q 虚血性心疾患を予防するには?

A 適度な運動と適切な食事(減塩、適正カロリー、野菜の摂取)などが予防に繋がります。

虚血性心疾患の主な原因は動脈硬化であり、高血圧・糖尿病・脂質異常症・肥満・喫煙は動脈硬化を進行させる危険因子です。他にはストレス、睡眠不足、現代社会特有の不安やうつなども原因として考えられています。予防法としては、適度な運動と適切な食事、禁煙、十分な睡眠、ストレスや疲れをためないなどが挙げられます。普段から運動をする習

慣を付けることで動脈硬化を予防できますので、メディカルフィットネスを活用することもお勧めします。また、定期検診を受けることも重要です。かかりつけ医をもち、日頃から血圧、血中コレステロール、血糖といった危険因子の管理を行って、動脈硬化を予防することが大切です。このことは健康寿命の延長にもつながります。

Information

慢性腎臓病の予防

人工透析内科部長 清水 明徳

腎臓は皮膚や筋肉と同じように老化に伴い少しずつ弱っていきます。しかし、食生活や毎日の生活を工夫することで腎臓が弱くなることを遅らせることができます。食生活では意識して塩分をとり過ぎないように注意しましょう。肥満防止のためにカロリーや脂肪を控え、規則正しい食生活を送ることも重要です。また、たばこを吸っている人は禁煙に努めてください。禁煙は腎臓以外の病気でも予防の最重要課題です。そして、毎日の生活の中でウォーキングなどの適度な運動は、血液の循環を改善させます。ただ、脱水

は腎臓の機能を悪化させるのでこまめに水分を摂るようにしましょう。また、痛み止めや感冒薬などを安易に常用することも腎臓には良くありません。服用は主治医に相談しましょう。他にも、腎臓の悪化の主な原因として高血圧や糖尿病などの生活習慣病が挙げられます。高血圧や糖尿病のある方は医療機関を受診してきちんと治療しておくことが大切です。

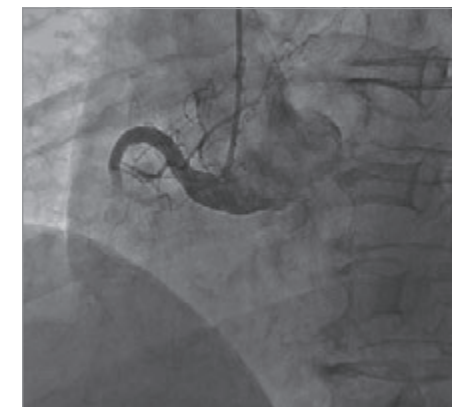


Q どのような治療法がありますか?

A 急性心筋梗塞では血流が途絶えた領域の心筋が時間とともに壊死していくため一刻も早く血流を再開させる「再灌流療法」を行うことが重要です。

再灌流療法の主役であるカテーテル治療は、手首や足の付け根からカテーテルと呼ばれる細い管を血管内に挿入し、風船や金属の筒(ステント)で細くなった血管を拡げる治療です。また、冠動脈バイパス術といって、狭くなった血管の先に別の血管(バイパス=移植した血管)をつなぎ、新

しく血液の流れをつくる手術があります。カテーテル治療が第一選択となりますが、病状により冠動脈バイパス術を行うことがあります。当院では内科と外科で協力し、病態に応じて最適な治療方針を決めています。



急性心筋梗塞で閉塞した冠動脈



ステント治療後の冠動脈

Q 症状を自覚したらどうすればいいの?

A すぐに119番通報してください。

一番近い消防局につながり、「火事ですか?救急ですか?」と聞かれますので「救急」と答え、状況を説明してください。いつ急性心筋梗塞になるか前もって予測するのは難しいため24時間365日いつでも緊急で治療が行える体制が病院

には必要とされます。当院では夜間でも常時、循環器内科医、心臓血管外科医が当直し、経験豊かな専門スタッフが緊急事態に対応できる体制を整えています。

慢性腎臓病の治療

人工透析内科医長 進藤 稔弘

腎臓の機能は誰しも年齢とともに低下していきます。その低下するスピードを緩やかにすることが治療目的となります。治療の基本は適切な血圧管理にあります。個々の患者さまの年齢や尿タンパクの有無など病態に応じた降圧目標を決め、コントロールすることが重要です。また、慢性腎臓病の進行とともに現れてくる様々な症状に対しても治療が必要となります。むくみに対しては利尿薬を用いて体液コントロールし、腎臓が原因でおこる貧血に対しては造血剤の投与を行います。腎機能が低下すると身体の酸、アルカリ

のバランスが崩れてくることがありますので、それを補正することも重要です。これらに加えて最近では2021年に初めて慢性腎臓病の治療薬として使用可能な薬剤が承認され、選択肢は広がってきています。慢性腎臓病が進行し腎機能が廃絶してしまった場合は、腎臓の代わりをする腎代替療法が必要となります。具体的には血液透析、腹膜透析、腎移植がありますが、患者さまのライフスタイルに合った最良の治療法を話し合いながら決定していくことが重要です。